

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 2月 21 日

事業所名 つばさ 保護者等数(児童数) 53名 回収数37名 割合 70%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	6	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・重心児童は2階、重心以外は1階に振り分けられ活動スペースが確保されていると思います。 ・カームダウンエリアを確保していただいております。 ・自分の好きなおもちゃを選んで、お友達と一緒に楽しく遊ばせてもらっている様子です。またヨガなどもスペースを確保され良くしていただいております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重心児童、重心以外でフロアを分けて安心と安全に過ごせる環境作りをしています。イベントは合同で楽しむようにして交流も大切にしています。 ・周囲の騒がしさが苦手なお子様、すみっこが落ち着くお子様などそれぞれの特性に寄り添ってみんなが自分の居場所を見つけられる環境づくりを心がけています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	0	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置数の基準は満たされていると思います。デイの利用中のPT訓練の実施は大変ありがたいです。できれば、もう少し実施頻度、時間を取って頂けると幸いです。いろいろな姿勢をとっていただいておりますが、引き続き側面の進行予防や体が固まらないようにご協力をお願いします。 ・その日の配置数が公表されていないのでわかりません。 ・適切だと思います。 ・子どもの性格などもよく理解してくださり、本人のペースに合わせながらも自分でできることが見えるような声掛けや対応をしてくださっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定基準を満たしています。 ・看護師、保育士、理学療法士など様々な資格保持者が働いているので、それぞれの得意分野を活かし、協力し合いながら専門性をより高めていきます。 ・実施頻度、時間のご希望について承りました。ほかのお子様との兼ね合いやデイの活動時間の確保も早くにご希望に沿うのは難しいところもありますが、適宜お子様の状態を見て時間を調整していきたいと思っております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	7	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階重心以外の指導訓練室と遊戯室の敷居にのみ段差があり、その他はすべて段差はありません。
適切な 支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の課題を明確に分析され、十分な計画を作成いただけていると思います。 ・自分でできることが増えるように見守って声掛けしてくださりとてありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個々の強みや課題を客観的に分析を行い、出来ることや能力の向上が図れるような計画を立てていきます。 ・保護者にお子様の強みや課題を書面にてアセスメントいただき、保護者様の思いも取り入れた計画になるようスタッフで話し合いモニタリングして立てています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	35	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなプログラムが考えられていると思います。 ・いろいろな取り組みを考えていただきありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな体験を通して子どもたちの楽しい、やってみたい、頑張ってみようを引き出しにできるように、今後も工夫していきます。 ・子どもたちが落ち着いて過ごせるよう、ある程度ルーティン化も必要であるとの観点から特に平日利用時は同プログラムが多くなりやすいです。ルーティンの中にも少しでも変化をつけていくように企画します。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	5	6	20	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要性を感じていません。 ・少ないと思いますが、特に必要性を感じていません。 ・交流する機会があるのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接交流する機会はありませんが、地域の公園に行ったり外出にて地域の子どもたちと同じ空間で遊んだりする中で、譲り合いや社会のルールを学んでいけるように考えています。 ・今後はお祭りなど地域で開かれているイベントにも参加していきたいと思っております。
保護者 への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・説明いただきました 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の前に支援内容、利用料の説明をさせていただきます。もし、ご不明な点があれば改めて説明させていただきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の合間や連絡帳で日頃の様子をつたえていただいております。引き続き子どもたちの発達状況や課題について共有できればと思います。 ・毎回送迎時や連絡帳で伝えていただいております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や懇談、ラインなどにて状況を伝えさせていただいております。その中で課題や発達の状況など共通理解が図れるように取り組んでいきます。 ・ご家庭での様子なども教えていただきありがとうございます。いろいろな姿を知ることによって子供の理解がより深まると思っております。今後よろしくお願いいたします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も個人懇談も実施いただきました。引き続き助言等頂ければと思います。 ・個人懇談の際に非常に詳しくデイでの様子をお聞きし助言などして頂いています。 ・アドバイスをヒントなどもいただけてとても助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、懇談を実施しています。なるべく皆様にご参加いただければと思います。 ・事業所が提案する懇談会以外の日でも、何か困りごとや共有したほうがいいことが出来た時は随時懇談を行わせていただきます。 ・スタッフそれぞれの経験や専門知識を活かして必要な助言を行えるよう研修してまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	9	15	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要性を感じていません。 ・学校で保護者間の交流はあるので特にデイで設定していただかなくても大丈夫です。 ・父母の会が存在するのかわからない。あれば交流したいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の設立はしていませんが、パーベキュー大会や親子参加ヨガなどを企画して保護者様同士と一緒に楽しめる機会を作っていました。コロナ禍のため自粛していましたが、また保護者の方も楽しんでいただける機会を作りたいと思います。 ・保護者会の開催の企画は現段階ではありませんが、ご要望が多いようであれば検討したいと思っております。茶話会をしたいと考えているので、いずれは行いたいと考えています。

	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	4	0	7	・説明いただきました。	・苦情窓口を重要事項説明書に記載しております。苦情があった際は、電話、訪問などで迅速に解決出来るように取り組んでおります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	0	0	0	・LINE、連絡帳、送迎時の会話を通じて実施されているか ・LINE、連絡帳、送迎時の会話を通じて実施されているか ・連絡帳をLINEで細かい連絡をいただいています。 ・毎回送迎時に様々なことを教えていただき安心していきます。	・連絡帳、送迎時の会話などを中心に、お会い出来ない場合は電話やSNSの活用により情報の共有を図っております。 ・それぞれのお子様の特性に合わせてジェスチャーや文字盤、視覚支援(絵、写真等)を用いて意思疎通が図れるように取り組んでいます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	4	0	5	・長期休暇中には予定表を配布いただいております。計画的に活動を実施いただいております。ブログでも活動の様子を知ることが出来ます。 ・長期休暇や週末のちよていはいつもいただいております。	・長期休暇前に予定表を配布しております。また、ラインなどでも変更点や連絡事項をお知らせしていけるよう今後も努めて参ります。
	14	個人情報に十分注意しているか	33	1	0	2	・注意されていると思います。	・保護者様より個人情報の同意書を契約時にいただき、個人情報には十分に留意するように努めております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	1	2	5	・説明いただきました。	・契約時に、全ての項目において事業所間でマニュアルを作成してスタッフ間で共有していることをお伝えさせていただいております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	1	0	2	・訓練の実施をきいております。	・全ての曜日で避難訓練を定期的に行い、保護者の方にきちんと伝わるように様々な方法で(連絡帳、ブログ等のSNS、送迎時)お伝えできるように取り組んでおります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	36	1	0	0	・表情や様子から、楽しく通所していることがわかります。 ・お迎えの電話が鳴ると玄関に走っていき待機しています。 ・とても楽しみにしているようです！	・たくさんの嬉しい言葉ありがとうございます。全ての子どもたちにとって安心出来る居場所として在り続けるように更に構築していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	37	0	0	0	・様々なプログラム、送迎時間、急な予定変更などに十分対応いただいております。 ・子供の様子を細かいところまでよく見て対応していただき大変感謝しております。	・現状に満足せず、より良いサービスの提供が出来るように職員の質の向上、支援の充実を図っていきたく思います。 ・保護者様、子どもたちのニーズに応えることができるようにたくさんの企画を經過し、楽しく安心できる居場所づくりもしていきます。
		・日頃のご支援に感謝申し上げます。 ・親が経験させられていない活動を通じて、子供のいろいろな感情(嬉しい、楽しい、苦手、嫌いな等)を引き出していただいていると思います。 ・他の学年や他行の子どもと関われるのはありがたいです。引き続き子ども同士の関わりに取り組んでいただき、そのエピソードも聞かせていただければ幸いです。 ・メルクグループとして高校卒業後も通える作業所、グループホームなどを開設してほしいです。 ・いつも暖かく関わってください、ありがとうございます。親子共々安心して通所出来ています。送迎時や連絡帳で子どもの様子をいつも詳しく教えてくださるのでとてもありがたいです。体調面や安全面にも配慮してくださるので安心できます。これからもどうぞよろしくお願い致します。 ・本人がとても楽しそうに通っています。安心してお任せできます。 ・つばさスタッフの皆様いつもお世話になっております。スタッフの皆様が子供のこと大事にしてくださるので、安心して預けることが出来ます。情緒不安定なところもありご迷惑をおかけすることもあると思いますが、切り替えは早いほうなので本人にできることを手伝わせると積極的にやってくれると思うので声掛けてみてください。					・こちらこそ、いつもご利用いただきありがとうございます。保護者様と子供たちの成長や課題について語り合い一緒に喜びを共有出来てとてもやりがいがあります。 ・つばさには小学生から高校生まで幅広い年齢のいろいろな学校のお友達が集まっていて、つばさでしか見られない関わりや関係性が生まれています。その関わりを大切にしながらまたエピソードをお伝えしますね。 ・高校卒業後の施設については毎年たくさんご要望をいただいております。すぐにお答えすることは中々難しいものではありますが、ニーズにこたえられるよう努力してまいります。 ・お子様の気持ちや状況に寄り添っていきたく思っています。お手伝いを通して自己肯定感を育み自立につなげていきたいと考えているので、これからも積極的に声掛けをしていきますね。	

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 2 月 21 日

事業所名:放課後児童デイサービスつばさ

保護者等数(児童数) 3名 回収数 1名 割合33.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					重心児童、重心以外でフロアを分けて安心と安全に過ごせる環境作りをしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○					指定基準を満たしています。看護師、保育士、理学療法士など様々な資格保持者が働いているので、それぞれの得意分野を活かし、協力しながら専門性をより高めていきます。
	3 生活空間は本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○					1階重心以外の指導訓練室と遊戯室の敷居にのみ段差があり、その他はすべて段差はありません。
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○					毎日の掃除や消毒等の環境整備を心がけています。加湿空気清浄機を準備し、ウイルスや湿度に気を付けながら環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○					保護者にお子様の強みや課題を書面にてアセスメントいただき、保護者様の思いも取り入れた計画になるようスタッフで話し合いモニタリングして立てています。
	6 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○					ガイドラインに沿って、今お子様やご家庭にとって最も必要な支援項目を選択し、支援内容についてスタッフ間で協議し設定しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○					全スタッフが計画にそって支援が行えるように、スタッフ間での共有を心がけています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○					いろいろな体験を通して子どもたちの楽しい、やってみたい、頑張ってみようを引き出していけるように、今後も工夫していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○				直接交流する機会はありませんが、地域の公園に行ったり外出にて地域の子どもたちと同じ空間で遊んだりする中で、譲り合いや社会のルールを学んでいけるように考えています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					利用の前に支援内容、利用料の説明をさせていただきます。もし、ご不明な点があれば改めて説明させていただきます。

適切な支援の提供	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○				児童発達支援計画をお渡しする際に支援内容の説明を行っています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	○				ペアレント・トレーニングは行ってませんが、ご家族のご希望に合わせた家族支援プログラムを今後計画していこうと思います。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○				送迎時や懇談、ラインなどにて状況を伝えさせていただいています。その中で課題や発達の状況など共通理解が図れるように取り組んでいきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○				毎年、懇談を実施しています。事業所が提案する懇談会以外の日でも、何か困りごとや共有したほうがいいことが出来た時は随時懇談を行わせていただきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	○				保護者会の開催の企画は现阶段ではありませんが、ご要望が多いようであれば検討したいと思っております。茶話会をしたいと思います。考えつつなかなか実行できていないので、いずれは行いたいと考えています。
	16	子どもや保護者から相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○				苦情窓口を重要事項説明書に記載しております。苦情があった際は、電話、訪問などで迅速に解決出来るように取り組んでおります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○				連絡帳、送迎時などの会話を中心に、お出会い出来ない場合は電話やSNSの活用により情報の共有を図っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○				長期休暇前に予定表を配布しております。また、ラインなどでも変更点や連絡事項をお知らせしていけるよう今後も努めて参ります。
	19	個人情報の取り扱いに十分に注意されているか	○				保護者様より個人情報の同意書を契約時にいただき、個人情報には十分に留意するように努めております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○				契約時に、全ての項目において事業所間でマニュアルを作成してスタッフ間で共有していることをお伝えさせていただいています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				全ての曜日で避難訓練を定期的に行い、保護者の方にきちんと伝えるように様々な方法で(連絡帳、ブログ等のSNS、送迎時)お伝えできるように取り組んでおります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	○				子どもたちにとって安心出来る居場所として在り続けるように更に構築していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	○				保護者様、子どもたちのニーズに応えることができるようにたくさんの企画を経過し、楽しく安心できる居場所づくりもしていきます。
その他	自宅ではできない友達との触れ合いや遊び等を経験させていただいており、子供の成長にもつながっていると感じています。 お風呂に入れていただけるのもとてもありがたく感謝しています。					温かいお言葉ありがとうございます。 様々な経験を通して新しい発見や成長と一緒に喜びあえて私たちも嬉しく思っています。お風呂もいつも気持ちよさそうに入ってくれるのでやりがいがあります。	

i「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な支援内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されます。

iv「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学べることにより、子供が適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等に、事業所の評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入頂くとともに、「ご意見」についてもご記入ください。